

世の中にたえて桜のなかりせば 春の心はのどけからまし 在原 業平

業平が桜の宴で歌ったものと言われています。「たえて」は全くという意味です。この世の中に桜というものが全くなければ、さぞ春の気持ちはのどかであるだろうに。桜が咲くので桜の花が心配でならないと、逆説的な言い方で花に対する愛着を歌っています。

今、本校正門横の桜の木も、美しい満開の花を見せてくれています。その姿からは、未来に期待膨らます安佐中生と同様に、春の力強さを感じます。

本校校長として着任して5年目となりました。782名の生徒さんをお預かりすることの責任をかみしめながら、教職員一同全力を尽くす所存ですので、どうかよろしく願いいたします。

伝統を継承しつつ更なる発展を

平成22年度がいよいよスタートしました。新学期を迎え、教職員も生徒も、新たな気持ちで一杯です。春は出会いの季節です。この一年間様々な出会いがあると思いますが、その出会いを大切にしながら、生徒の健やかな成長を願い、さまざまな実践を行っていきたくて考えております。本校創立以来の61年間に培った伝統をもとに、一層の充実発展を目指して頑張りたいと思いますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

桜の花が満開の4月6日、希望に胸を膨らませた1年生が伝統ある安佐中学校の門をくぐりました。この日、第61回入学式並びに始業式を行い、やる気に満ちあふれた2、3年生と共に新しいスタートをきりました。

本年度は新入生257名を仲間として迎えることができ、1年生8学級、2年生7学級、3年生7学級、特別支援学級3学級、計25学級の編制となりました。

今年度、「自らの学びを追求する生徒の育成」を目指し、なかでも特に、「一人ひとりの相手を意識した表現力の向上」に重点をおき、教職員一同、力を合わせ、がんばっていきたくて思っております。



高めあう学校を目指して

本年度が始まるに当たり、本校教育の特色について、簡単に紹介します。

- 1 確かな学力の一層の定着を目指します。
これまでの実践研究成果を更に発展させながら、基礎・基本の学力が定着するよう学習指導の工夫改善に取り組みます。
 - ・全員、年2回授業研究を行います。(10月に公開授業研究会実施)
 - ・一定時間家庭で勉強する習慣を身につけるよう指導します。(チャレンジ1・1・2に取り組みます) デイリーライフによる支援指導など工夫を行います。
 - ・1年生の国語、英語の1学級2展開による少人数指導を実施します。
- 2 豊かな人間性の育成に努めます。
道徳の授業や体験的な学習等を通して、豊かな心をもった人間を育成します。
 - ・道徳の授業研究を行い、全領域で年間8回はゲストティーチャーを招き授業を実施します。
 - ・感動ある体験活動・行事を実施します。
 - ・朝読書をこれからも充実させていきます。
 - ・「あいさつ」「掃除」「人の話をじっくりと聞く」などを通して、自他を尊重していく心を育てていきます。